



2021年4月30日

各位

会社名 ハリマ化成グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証第一部)
問合せ先 上席執行役員
 経理グループ長 上辻 清隆
(TEL. 06-6201-2461)

2021年3月期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2020年10月30日に公表しました2021年3月期連結会計年度(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 業績予想値と決算における実績値との差異について

2021年3月期連結会計年度業績予想と実績の差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	62,000	1,100	900	1,150	45.75円
今回発表実績(B)	62,850	1,576	1,093	1,091	43.44円
増減額(B-A)	850	476	193	△59	—
増減率(%)	1.4	43.3	21.4	△5.1	—
(ご参考)前連結会計年度実績 (2020年3月期)	71,799	3,752	3,589	2,217	87.67円

II. 差異が生じた理由

当連結会計年度の業績は、新型コロナウイルス感染症の影響により、販売数量の減少で厳しい状態が続きましたが、第2四半期以降、中国での製紙用薬品事業が引き続き堅調、在宅勤務によるパソコン需要及び通信インフラ拡大など堅調に伴う半導体用機能性樹脂、ソルダペーストの販売増加により、売上高が回復しました。その結果、売上高につきましては、前回の予想を上回りました。

収益につきましては、原材料価格の上昇により、厳しい状況でしたが、売上高増、合理化、コスト削減効果もあり、その結果、営業利益、経常利益につきましては、前回の予想を上回りました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益が増加したものの、減損損失を特別損失に計上したため、前回の予想を下回りました。

以上